

## 日本医学会分科会活動報告

一般社団法人日本胸部外科学会  
理事長 澤 芳樹

I. 医学および医療の水準の向上への貢献が日本医学会分科会にふさわしいと考えられる貴学会の独自の活動を以下に留意して記載をしてください。

a. 特に学術的に重要と考えられるもの

学術集会・地方会の開催、分野別会長制導入（胸部外科領域の3分野：心臓血管外科・呼吸器外科・食道外科）、学会誌・ニュースレターの発行、心臓血管外科専門医および呼吸器外科専門医の認定、胸部外科領域の学術調査、若手のための JATS Academy の構築（研究助成・手術ビデオ・ライブラリー）、胸部外科領域のセミナーおよび心臓血管外科および呼吸器外科サマースクールの開催、医療安全講習会があげられる。

b. 当該領域における国際的な役割

学術集会を開催し、アジア心臓血管外科学会の開催に協力し、海外の学会の学術集会との交流を図り、また、英文誌 General Thoracic and Cardiovascular Surgery を発行することで胸部外科学の医学研究の向上に寄与する。2022 年からは新たに Case Report 誌 General Thoracic and Cardiovascular Surgery Cases を創刊する。

フェロシップやアジアトラベルグラントを実施し、海外の大学・研究機関・医師との交流を図り、胸部外科領域のグローバルな次世代への継承を図る。

胸部外科領域のグローバルなオンラインネットワークである CTS Net に加盟し、学術集会および学会誌の情報を発信している。

c. 活動からもたらされる社会的な意義

胸部外科学の学術研究に関する事業を通して、胸部外科学の進歩と普及に貢献し、学術文化の発展と国民の医療福祉に寄与する。

d. 学会運営上留意している点

本会は胸部外科領域の3分野（心臓血管外科・呼吸器外科・食道外科）で構成されており、分野別会長制を導入するなど本会が基盤学会となり強い縦横のネットワークを構築すること、国際連携をはぐくみ国際的ブランド力を高めること、次世代胸部外科医の育成、ダイバーシティ、インセンティブ等の処遇改善と働き方改革を一層すすめる胸部外科医の地位の向上を図ること、事務局機能の発展と事業展開等により財政強化を実践すること。

II. 日本医学会分科会にふさわしいと考えられる貴学会と他の分科会との連携による活動を

記載してください。

a. 専門医および施設の認定

- 1) 日本心臓血管外科学会および日本血管外科学会との連携により心臓血管外科専門医の認定および施設認定をしている。
- 2) 日本呼吸器外科学会との連携により呼吸器外科専門医の認定および施設認定をしている。
- 3) 3 学会合同呼吸療法認定士認定試験、臨床工学技士国家試験、学会合同体外循環技術認定士認定試験、4 学会 1 研究会合同人工心臓管理技術認定士認定試験に関して関連学会と協力をしている。

b. 学術集会におけるプログラムの構築

胸部外科領域の 3 分野である心臓血管外科（日本心臓血管外科学会・日本血管外科学会）・呼吸器外科（日本呼吸器外科学会）・食道外科（日本食道学会・日本消化器外科学会）のそれぞれの分野別会長制による学術集会プログラムの構築をしている。

c. 若手医師を対象としたサマースクール

日本心臓血管外科学会と協力し「心臓血管外科サマースクール」を開催し、日本呼吸器外科外科学会と協力し「呼吸器外科サマースクール」を開催している。

d. 胸部外科領域の学術調査

日本心臓血管外科学会および日本小児循環器学会と連携し「日本心臓血管外科手術データベース機構（JCVSDO）」に協力し、日本呼吸器外科学会と連携し「全国肺がん登録」に協力し、日本消化器外科学会・日本食道学会・日本外科学会・日本内視鏡外科学会等と連携し「消化器外科データベース関連学会協議会」に協力している。

e. 学会誌の発行

英文誌 General Thoracic and Cardiovascular Surgery を発行しており、日本呼吸器外科学会は Official Journal として日本心臓血管外科学会は Affiliated Journal として連携している。2022 年からは新たに Case Report 誌 General Thoracic and Cardiovascular Surgery Cases を関連学会と連携し創刊する。